

外国人向け防災カード

災害時の行動、イラストで



多言語やイラストで災害時に必要な情報をわかりやすく掲載した「防災カード」

英、ベトナムなど6か国語

日本語が話せない外国人が災害時に困らないようにと、「神戸国際協力交流センター」（神戸市中央区）が、計6か国語で記した「防災カード」を作った。区役所や国際学校などで5万部を無料配布している。

縦11センチ、横7センチのポケットサイズで、英語、韓国語、朝鮮語、ポルトガル語のもの、中国語、スペイン語、ベトナム語表記の2パターン。災害時に取るべき行動をイラストで記し、標識やラジオの周波数など

を表示。避難時の注意点、災害用伝言ダイヤルの使い方などを個条書きしている。

阪神大震災時に外国人を支援したNPO「多言語センターFACIL」（同市長田区）のアドバイスを受

け、作製した。

市内在住の外国人は約4

万4000人。同センターは「常に持ち歩いて災害に備えてほしい」としている。問い合わせは同センター（078・291・0641）。